

会		議	記	録
会議の名称	決算特別委員会(全体会)			会議場所 全員協議会室
				担当職員 加藤 太郎
日 時	令和3年9月15日(水曜日)			開 議 午前 10時 00分
				閉 議 午前 10時 19分
出席委員	◎小川 ○赤坂(産業建設分科会委員長) 木村総務文教分科会委員長 平本環境市民厚生分科会委員長 ほか委員18人 ＜福井議長、富谷議員(監査委員)＞			
執行機関 出席者	桂川市長、石野副市長、玉井病院事業管理者、神先教育長、 山内市長公室長、浦政策企画部長、石田総務部長、小栗会計管理室長(会計管理者)			
事務局 出席者	山内事務局長、井上次長、加藤副課長、佐藤主任、小野主任			
傍聴	可	市民0名	報道関係者0名	—

会 議 の 概 要

1 0 : 0 0

1 開 議

[小川委員長 開議・あいさつ]

[事務局長 説明]

[事務局副課長 説明]

[市長等 入室]

1 0 : 0 8

2 決 算 審 査

＜市長＞

提案させていただいた令和2年度の各会計決算について、本日からの審議に先立ち、一言御挨拶を申し上げる。令和2年度は、市制65周年、亀岡新時代の幕開け、亀岡市のターゲットイヤーとしてスタートし、世界に誇れる環境先進都市、多文化共生のまちづくりの取組を進め、新たなまちづくりの核である京都スタジアムのオープン、大河ドラマ館の開館、かめきたサンガ広場の整備が進むなど、にぎわいの創出と経済効果に期待したところであるが、各種イベント開催が、新型コロナウイルス感染症まん延に伴い発出された緊急事態宣言の影響を受けて中止になるなど、新型コロナウイルス感染症の猛威は、本市にも大きな影響を与えることになった。そのため、令和2年度は、市民の健康と安全な生活を守るため、感染防止対策と社会経済活動、地域経済活動支援の両面から、スピード感をもって対策を講じてきたところである。また、子育てや教育環境の充実を図るとともに、亀岡駅北土地区画整理事業をはじめ、まちづくりにも力を注いできた。歳入は、市税収入やふるさと納税寄附の倍増等により、財源が確保できたため、財政調整基金の取崩しを控えることができた。限られた財源を最大限に効果的・効率的に活用することを基本に、予算の執行に努めてきた。その結果、予算執行については、おおむね順調に推移し、市税収入は100億円を確保することができ、一般会計における実質収支は、市制施行以来の黒字決算を継続することができた。また、各特別会計と企業会計は、水

道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計それぞれ黒字決算、純利益を計上することができた。これらの決算については、将来の財政計画や各種まちづくり計画の推進における基礎的データとなるものであり、分析・評価を怠ることなく、有効に活用していく所存である。なお、この後、主に収支等における概要を会計管理者から、また各事業の説明については、各分科会において担当部課長から説明させていただく。連日の審議で御苦勞をおかけするが、何とぞ認定賜りますよう、お願い申し上げます。

<小川委員長>

続いて、令和2年度決算状況について、会計管理者から説明願う。詳細は各分科会で審査するため、この場は聞きおく程度とする。

[会計管理者 決算状況の概要説明]

<小川委員長>

限られた日程の中での円滑な審査となるよう、理事者の皆さんには、簡潔で適切な説明、適確な答弁をお願いします。また、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、各分科会においては、大勢の入室とならないよう、可能な限り、少ない人数での対応を徹底いただき、入室前には、手指のアルコール消毒、体温チェックなどをお願いします。このあと、分科会審査に入り、担当部の出席を求める。

10:18

3 そ の 他

<小川委員長>

委員の皆さんは、委員会室に移動し、分科会審査に入ってください。各分科会委員長は、審査についてよろしくお願いします。なお、分科会の開議時刻は、午前10時30分からとする。

[市長等 退室]

散会 10:19